

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		小塚8号線改良整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	上原哲也				
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	上田 伸介				
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	工務班	(内線)	2278				
予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	3	事業連番	10075	法令根拠	成果優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (3 ~ 24 年度)		コスト削減優先度評価結果					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志庁舎から杉並台団地へと道路改良及び新設L=1113mを行う事業であるが、井手下橋までのL=733mを優先的に進める。 地元要望により必要性の検討の結果、平成3年度から事業開始した。 県道大津西合志線を挟んだ区域に大型開発の計画がもちあがり、県道以南の圃場整備区間は開発区域と計画道路が重複している。 また、合併後の市道認定の取り扱い方 (平成22年度から事務事業統合により市道舗装事業に登録する。)
【業務の流れ】	
【主な予算費目】	
【意見や要望】	合志工業団地から、県道大津西合志線へ抜ける道路整備の要望がある 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
用地交渉、不動産登記	用地買収
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 全体延長	m イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
小塚8号線	⇒ア 計画延長 m
	⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
地域間を結ぶ道路として安全・快適に移動できるようにする。	⇒ア 整備率 %
	⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 用地買収	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	m	733	733	733	733	733	3	
	イ							3	
⑤ 対象指標	ア	m	733	733	733	733	733	3	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	30	30	0	0	50		
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円			0	0	4,750	14,250
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円			0	0	250	750
	(A) 事業費計	千円		0	0	0	5,000	15,000	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	1		2	4	2	2	
	延べ業務時間	時間	50		400	115	400	400	
	(B)人件費計	千円	199	0	1,592	458	1,592	1,592	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	199	0	1,592	458	6,592	16,592	0

総トータルコスト 全体計画	3 ~ 24 年度
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

合志市

事務事業名	小塚8号線改良整備事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	用地交渉の難航により目標達成できなかった。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	用地交渉が難航している。		
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	成果は事業が完了しないと発揮できない。		
有効性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	市道改良は庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。		
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行っているが単価等の決定を行っているため余地はない。		
効率性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	本事業は、積算業務等、外部に委託することで入札等に支障をきたす恐れがあるため、必要最小限度内において職員を分担している。よって、正職員以外の職員は担当できない。		
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	地域はもとより市民の通行利用もあることから公正である		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

地権者の土地購入時の価格が現在の提示額とかけ離れており、交渉が難航している。改良の必要性を地権者に説明し、用地取得に努める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下		
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策